

## 令和4年度 第1回昭和町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和5年1月12日(木)  
開会 午後 3時30分 閉会 午後 5時2分
- 2 会 場 昭和町中央公民館第2会議室
- 3 出席者 町 長 塩澤 浩  
副町長 渥美 幸久  
教育長 太田 充  
教育委員 小宮山 稔  
教育委員 山田 由美  
教育委員 磯部 幸廣  
教育委員 井口 加保理
- (事務局関係)
- 総務課長 伊藤 直樹  
教育委員会学校教育課長 神澤 卓見  
教育委員会生涯学習課長 佐久間 紀彦  
総務課総務係長 小宮山 和俊  
教育委員会学校教育課教育指導監 雨宮 洋  
教育委員会学校教育課学校教育係長 細田 忠司  
教育委員会生涯学習課係長 深川 慶太
- 4 協議事項 (1) 運動部活動の地域移行について  
(2) 杉浦醫院の今後のあり方について  
(3) その他

## 別紙（議事詳細）

- 1 はじめの言葉（伊藤総務課長） 資料確認 資料 5 種類
- 2 町長あいさつ（塩澤町長）  
※あいさつ内容は省略
- 3 前会議事録確認  
小宮山総務係長より、令和3年度第1回総合教育会議議事録の確認について説明を行った。
- 4 議事  
(1) 運動部活動の地域移行について

はじめに運動部活動の地域移行について資料に基づき生涯学習深川係長が説明を行った。

こちらの説明について質問意見は

小宮山委員

外部移行については教育委員会の際に話が出ており、教職員の負担軽減という点ではいいと思うが部活のあり方について、教育の一環かそうでないかで今後の費用負担を含めたいろいろな方向性が変わってくると思うが、そのあたりは教育委員会としてどのように考えているのか。

深川生涯学習課係長

部活動の位置づけは法律で定まっているのではなく学習指導要領に記載されている。学校内で活動しているが、「学習活動ではない」と認識している。

部活を通して培われることも多いため単純な「部活動」ではないと認識している。部活動の意味として、人間関係を形成する、心身を鍛えるといったことも含んでいるので単純な地域のスポーツ活動という訳ではないと認識している。

小宮山委員

外部指導者は生徒に対しどのようにかかわるべきなのか、町としては外部指導者への指導に関する要望を伝えて指導できる方に委託すれば教員の負担軽減にもつながるのではないかと。

深川生涯学習課係長

部活動の種類によって部活の目指す方向が違っており（部活動の目指すものとして「勝ち負け」を重視した部活動をするか、楽しく部活をするか、部活動の価値観について生徒の目指す方向性も異なっている。）

勝利を重視するならそれなりの指導者、楽しみを追求するのであればそういった指導ができる指導者を探してくる等、全体の仕組みを変えるような改革になっているのではないかな。

指導者の育成 質の向上を目指していきたい。

小宮山委員

スポーツ協会の指導者リストもあるので、そういったものを活用して指導者の選定をしていければと思っているが、文化部の指導者選定はどうなっているか。文化協会会長、いかがでしょうか。

磯部委員

文化部の指導者については現時点ではわからないが、イメージとしては現行の文化協会の部の部員を指導者として活用していくのがいいのではないかな。

深川生涯学習課係長

文化協会で活動している部の活動を生徒に還元していくようにすれば、あらたに指導者を探すことなく指導者として文化協会の活動をそのまま生徒に還元できるのではないかな。

磯部委員

教員によっては（外部委託でなく）自分で指導をしたいと望む教員もいる。そういった教員も取り込んだシステムを構築していったらいいかな。

深川生涯学習課係長

部活への情熱が高い教員もいればそうでない教員もいる。部活動が上手く活動できているところは下支えしながら、みんなでシステムを構築していきたい。

磯部委員

部活動の受益者負担についてであるが、今後保護者に金銭的負担が発生するのか。

深川生涯学習課係長

部活動を地域で主体的に運営するとなると、活動費が発生する。

現在中学校は全員部活参加になっているが、部活に「入る、入らない」で受益

者負担の問題が発生してくる。

受益者負担が大きくなるような方向性でいけばいいと思うが。

部活の指導者への謝礼についても国の補助金等を利用したいが、そのあたりが現時点では不透明

小宮山委員

この制度は教員の部活動指導の負担軽減を行うため外部委託すると聞いている。

教育の一環として実施するものであれば基本的に金銭負担は今まで無かったので、今後も金銭的負担が大きくなるような形が普通ではないか

指導者の負担金は教育委員会で負担してもらおうという事が自然な流れではないか

山田委員

強い部活で自主的に遠征に行きたいと望んでいる部活は自己負担で行ったりしている。

しかし、費用負担ができない家庭については遠征費を互いに出し合って遠征に行ったりもした。

今後外部委託となるとそのような対応ができなくなるのもいいのではないか。

小宮山委員

教員の負担軽減が目的か、部活の地域移行が目的かで費用負担は変わるのであれば、指導者の確保については何とかなるのではないか。

深川生涯学習課係長

(外部) 指導者の洗い出しを現在カメラリアに調査してもらっている。

そこから人材バンクを作成したいと思っている。

指導者は視野を広げ探していきたい。

小宮山委員

出来れば指導者は有償ボランティアとして対応していただきたい。

教員の部活の指導対応についてはどうなっているのか

雨宮教育指導監

地域移行の一番の目的は全ての中学生がどこに住んでいても好きな部活が出来るのが目的の1つとしてある。

教員の負担軽減が本来の目的ではない。

小宮山委員

子どもたちに（学生時代に）いろいろな経験をさせることが本来の目的であるのか

雨宮教育指導監

その通り、その事以外に教員の負担軽減が目的である。

山田委員

地域移行は教員と地域講師を含めて部活を実施していくのか。

深川生涯学習課係長

教員の人事異動等あった場合、部活の持続性を保つという点では地域での指導者確保がいいと思う。しかし、全てのニーズに応えられないこともあるので難しい

山田委員

部活中のケガなどに備え、手当する者と指導する者として指導者が2名は必要ではないか。

指導者も仕事を持っていると指導者が不在になったりする事があるのではないかな。また、指導者がいない部活があるとなると、事故の増加が懸念されないか。

雨宮教育指導監

事故の心配は確かにある。地域移行が行いやすい部活から進めていくのがいいのではないかと考えている。

外部指導者を有償にして謝礼の金額を上げると良い講師がそろうが、支出金額がかさむ事になる。

人件費がかさむのでその部分を加味しつつ、可能な部活から地域移行をすすめていくのいいのではないかな。

井口委員

中学の部活は高校入試の判断基準になっているところもある。

外部指導者の参入で内申書の点数が変わったりすることはないのか。

地域移行で部活が入試に関与しなく（内申書の点数等）なればいいが、そのあたりは加味していただき、検討していく必要があるのではないかな。

小宮山委員

外部委託しても、外部講師以外に部活の顧問教員はいるのか。

雨宮教育指導監

顧問教員はいる。

現在部活には複数の顧問がいるので問題ないのではないかと考える。

小宮山委員

今は確かに部活の運営は現状のままでいいが、外部委託が浸透してきた場合入試との関連はどうなるのか。

雨宮教育指導監

入試については部活の大会について説明資料をつけて高校側に説明していくのであまり心配いらなと思うが。

小宮山委員

すぐに結論が出るわけではないようだ、今後の課題は多いと考えられる。

伊藤総務課長

今回の意見等について第 2 回の地域部会に本日の意見をあげて今後の方向性を検討していくという事でいいのか。

深川生涯学習課係長

そのとおり。回を重ねながら出来る部活から地域移行を検討していくことを考えている。

伊藤総務課長

本日の意見は地域部活動制度あり方検討会にて報告をしていく。

## (2) 杉浦醫院の今後のあり方について

佐久間課長より資料に基づき内容説明を行った。

- ・耐震性について
- ・雨漏りについて
- ・鼠害について

説明をふまえ、

○今後の杉浦醫院の活用について

- ・必要最小限の補修で建物を残す
- ・新しい活用(一度潰して建物のイメージを残した地域集会施設としての活用)

どのような方向性がいいのか

○母屋と屋敷蔵の今後について  
以上、活用の方向性についてのご意見をいただきたい。

小宮山委員

病院棟は修復して保存しているが、母屋は全体的な公共施設の見直しの中で小規模修繕を行い保存してはどうか。

ただし、雨漏り修繕は必要なのではないか。

あまり費用をかけずに、必要最低限の補修で保存しては。

磯部委員

公開するとなると、建物内部に公開可能な資料はあるのか。

佐久間生涯学習課長

公開資料は病院棟に移して公開している。

井口委員

現在の母屋の状況を確認したが、内部は修繕しないと公開はできない状況であった。

磯部委員

文化財として資料などの公開をするのか、建物が価値あるものとして公開するか。

佐久間生涯学習課長

建物の価値を公開する、歴史的資料は既に公開している。

井口委員

一部の資料は土蔵で公開しているが、母屋を公開するとなると（所有者が）生活していた空間なのですぐに公開する事は難しいのでは。

山田委員

母屋は耐震化されていないようだが、修繕するなら耐震化は必須か。

佐久間生涯学習課長

耐震化は必要となる。集会場などに転用するのであれば大規模修繕が必要

塩澤町長

「耐震性なし」の建物について、耐震化が可能なものなのか。

佐久間生涯学習課長

耐震化の工法によって耐震化できない建物は無いが、それなりの工夫をしながら耐震化しなくてははいけない

塩澤町長

(耐震診断の) 評点によって耐震化が難しいと理解していたが、耐震化した場合建物の公開は可能なのか今回の評点は耐震化ができる数値なのか。

佐久間生涯学習課長

建物を保存するだけでも耐震化が必要となる。

ただし耐震化しても一般公開できない場合もある。

建物内部への立ち入りができない場合は外部から見学してもらう方法もある。

小宮山委員

杉浦醫院の建物を利用して音楽コンサートをしたことがあると聞いているが、どの建物なのか。

佐久間

コンサートは病院棟で行った。

母屋は用途変更してから改修することが必要。消防法に抵触する事項があればそれらについてすべて改善しなくてはならない。

小宮山委員

古い建物で公開しているようなものは消防法に抵触しないように改修しているのか、改修しなければ建設当時の消防法に抵触していないという判断で現状の建物をそのままを残そうとする事は可能なのか。

いわゆる古民家として(改修等を行わず)公開しているところは現行の消防法に抵触しないような気がするがいかがか。

佐久間生涯学習課長

(古民家(住宅施設)として)そのまま公開するのであれば消防法に抵触しないと考えるが、・外観イメージを残して建て替えし集会場などに改築する、・現状のまま残す、いずれにしても保存をする場合耐震化は必要となる。

今回の件は、町の文化財として伝承する建物という考えのもと、「公共施設の見直し計画」とは切り離して考えている。



小宮山委員

伝承するような建物に改築をする、風情を残し改築をするというイメージでいいのか。

佐久間生涯学習課長

そのとおり。

井口委員

音楽コンサートの様子はどのようなものだったのか

佐久間委員

病院棟を使いコンサートを実施した。

聴衆人数は多く収容できなかった。

別の機会では庭園を用いてコンサートを実施したこともあった。

井口委員

杉浦醫院のピアノは歴史的価値のある大変貴重なものと聞いているので、ただ展示しておくだけではもったいないのではないかと。もっと活用してもいいのではないかと思う。

佐久間生涯学習課長

母屋について、整備すれば雰囲気よい建物となる。

そのまま建物を保存していくのか雰囲気を残しつつ建物の改修し、もっと人を呼ぶことが出来る建物とするのか、選択が必要だと思う。

小宮山委員

私も課長の意見に賛成する。

母屋内部を改修が必須でないにしても、建物の風情は残していただきたい。

磯部委員

改修の費用を考えるのであれば、クラウドファンディングを活用して改修費用を捻出することも一考なのではないか。

山田委員

現在の杉浦醫院の集客数はどのくらいか。

佐久間生涯学習課長

今年になって昨日（1月11日）時点で200名ほどである。日によって集客数

にばらつきがある。

小宮山委員

建物をフィルムコミッションで使用してもらってもいいのではないか。

佐久間生涯学習課長

フィルムコミッションのロケ地として声がかかったこともあるが、実現しなかった。

伊藤総務課長

いただいた意見を集約すると、良い雰囲気や風情を残しながら集会場として町民が活用していく場として検討していくという事で意見集約したいと思うが、よろしいか。

委員一同

異議なし。

その他

太田教育長

来年度の教育施策案の説明を行った。

他に意見なし。

会議終了 午後5時2分